

科名 外科
 対象疾患 胃がん
 プロトコール名 HER+SOX(胃癌)(プロイメンド併用)2コース目以降

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ラインキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	トラスツズマブ	6mg/kg	初回90分。以降忍容性があれば30分。 ただし、初回にインフュージョンリアクションあれば2回 目60分。以降忍容性があれば30分。	↓				
			注射用水	7.2mL						
			生食	250mL						
3	点滴注	側管	プロイメンド	150mg	30分かけて	↓				
			生食	100mL						
3	点滴注	側管	アロキシバッグ	0.75mg	30分かけて	↓				
			アロカリス	235mg						
			デキサート	4.95mg						
			ファモチジン	20mg						
			ネオレスタール注	10mg						
4	点滴注	側管	オキサリプラチン	100mg/m ²	2時間かけて	↓				
			5%ブドウ糖液	500mL	ルートごと変更					

内服 S-1 1回40mg～60mgを1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2-4にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

<トラスツズマブ>

初回8mg/kgを90分以上かけて二回目以降は6mg/kgで30分以上かけて

禁忌:アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から3か月以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

<S-1>

14日間投与、7日間休薬

・体表面積(BSA) < 1.25m²: 40mg/回

1.25m² ≤ BSA < 1.5m²: 50mg/回

BSA ≥ 1.5m²: 60mg/回

<オキサリプラチン>

オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖で希釈。(薬効がおちる。)

オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は

4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)